

教授会議事録

日時：平成22年12月7日（火）14時10分から16時15分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、議長から人事異動について配付資料により報告があった。

議事録の確認

平成22年11月9日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 教育研究評議会

議長から、11月16日に開催された教育研究評議会について、配付資料に基づき以下の報告があった。

- ①教員のキャリアオプション等の整備について
- ②学生の懲戒解除について

(2) 部局長連絡会議

議長から、11月16日に開催された部局長連絡会議について、配付資料に基づき以下の報告があった。

- ①パブリックコメントについて
- ②部局評価結果及び研究科長等裁量経費について
- ③第一期中期目標期間に係る暫定評価結果に基づく運営費交付金の配分について
- ④教員のキャリアオプションについて
- ⑤東北大学重点戦略支援プログラムについて
- ⑥マイレージの取扱いについて
- ⑦川内北キャンパステニスコート脇ゲートの入出方法変更について

(3) 国際高等研究教育機構運営審議会

議長から、国際高等研究教育機構運営審議会が11月16日に開催されたことが報告された。

(4) 男女共同参画委員会

本日欠席の教授に代わり議長から配付資料に基づき、12月19日に開催されるシンポジウムの説明があった。

2. 運営会議等報告

(1) 将来計画委員会

議長から、配付資料に基づき将来計画委員会における検討の進捗状況について、「抽出された課題と意見」にあるような分野構成や人員配置も含む研究体制についての議論を行っていることが報告された。

広く意見を出していただきたいとのことであり、シラバスの見直しなどの意見が出され、今後も意見があれば委員長へ申し出て欲しい旨依頼があった。

(2) 研究企画委員会

研究企画委員会について以下のとおり報告があった。

- ①共同プロジェクト発表会が無事終了したこと。
- ②RIEC ニュースレターについて執筆依頼をすること。
- ③RIEC アワードについて実施委員会や選考委員会について議論していること。
- ④産学連携研究マッチングファンドについて検討していること。詳細は次の議題で報告するとの付言があった。

(3) 安全衛生委員会

安全衛生委員会について以下のとおり報告があった。

- ①テーブルタップの床置きは火災の原因ともなるので止めて欲しいこと。
- ②耐震固定されていない棚が散見されるので対応していただきたいこと。
- ③駅伝大会について、対応としては問題なかったと思われるが、今後はエントリー時に心電図検査を受診するなど青葉山とともに検討していくこと。

(4) 電気・情報系進路指導委員会

電気・情報系進路指導委員会について以下のとおり報告があった。

- ①次期委員が活動を開始したこと。なお、次回から報告は新委員が行うとのことである。
- ②12月14日に第1回目の就職説明会があること。
- ③就職活動を終えた学生対象のアンケートを実施すること。
- ④現在10名弱の学生がまだ就職活動を行っていること。

3. RIECニュースレターについて

RIECニュースレターについて配付資料に基づき説明があり、原稿執筆依頼を行うので対応いただきたいとの説明があった。

なお、名称が「RIEC NEWS」となったことが報告された。

4. RIECアワードについて

議長から、RIECアワードについて配付資料に基づき以下のとおり説明があった。

- ①今回示した資料を研究教授会にも報告予定であること。
- ②財団法人電気通信工学振興会で基金管理をする予定であること。
- ③NTT東日本への依頼状は準備していること。
- ④平成23年度からは選考にあたり外部の方をいれる予定であること。
- ⑤分野は絞らずに選考すること。

5. 産学連携研究マッチングファンドについて

議長から、産学連携研究マッチングファンドについて配付資料に基づき申請状況が説明され、産学官連携推進センターにて精査・選考し、1月の教授会でその結果を知らせることが報告された。基本スタンスとしては、産学連携を強力に推進しそうなプログラムを選考したいとの説明があった。

なお、今回は今年度中の予算のため3月までの経費執行が必要であることが付言された。

6. 平成22年度部局評価の結果について

議長から、平成22年度部局評価の結果について、配付資料に基づき説明があった。

なお今回の結果は、平成22年度の部局評価及び平成16年度から19年度の第一期中期目標期間の暫定評価結果に基づく配分であるとのことである。

来年度以降、評点集計による数値的な部分での評価が低いので、特に科研費申請率の向上を目指していきたいとの説明があった。

7. 拠点協議会報告

議長から、平成22年度国立大学共同利用・共同研究拠点協議会総会について配付資料に基づき報告があった。

8. その他

(1) 職員の受賞について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(2) 受託研究の受入について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(3) 受託研究員の受入れについて

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(4) 民間等との共同研究の受入れについて

議長から、配付資料に基づき報告があった。

II. 協議事項

1. 研究員の任用について

議長から、配付資料に基づき研究員の任用について説明があり、検討の結果、承認された。

2. 客員研究分野教員候補者の推薦について

先に推薦いただいた外国人研究者（旧客員Ⅲ種）候補者を除く平成23年度客員研究分野教員候補者の推薦について、2月の専任教授による会議で審議するので、1月18日までに関係書類を提出願いたい旨説明があった。

3. 内規等の改正について

事務長から、配付資料に基づき事務組織の改正等に伴う内規等の改正について提案があり、承認された。

東北大学電気通信研究所運営協議会内規

東北大学電気通信研究所総務委員会内規

東北大学電気通信研究所環境マネジメント推進委員会内規

東北大学電気通信研究所建物環境委員会内規

東北大学電気通信研究所安全衛生委員会内規

東北大学電気通信研究所人間対象の研究に関する倫理委員会内規

東北大学電気通信研究所ナノ・スピンの総合研究棟共同利用スペース運営内規

国立大学法人東北大学電気通信研究所共同研究施設装置等利用内規

東北大学電気通信研究所やわらかい情報システム研究センター設置内規

電気通信研究所におけるハラスメントの防止等に関する内規

東北大学電気通信研究所リサーチフェロー制度実施要項

東北大学電気通信研究所リサーチ・アシスタント(RA)実施要項

東北大学電気通信研究所消防内規

国立大学東北大学電気通信研究所共通研究スペース運営内規

4. データベース「Scopus」の継続について

データベース「Scopus」の継続について配付資料に基づき、その特徴や導入の経緯、費用の負担につ

いて説明があり、平成23年度以降継続するかどうか部局の意見を求められているとの説明があった。
検討の結果、通研としてはあれば便利なので年10万円程度の負担であれば継続を望むが、それ以上の費用がかかるようならば継続しなくともよいとの報告をすることとした。なお、意見があれば来週中に申し出ることとした。

5. 各種委員会委員について

議長から、委員会委員の変更について配付資料に基づき説明があり、検討の結果、承認された。

人間対象の研究に関する倫理委員会：教授4名（内1名医学系研究科）

→教授4名（内1名医学系研究科 本務は医工学研究科）

6. 客員研究分野教員候補者について

議長から、配付資料に基づき平成23年度の外国人研究員（客員部門）候補者の追加について説明があり、検討の結果、承認された。

7. その他

(1) 国際化推進センター、産学官連携推進センターについて

議長から、国際化推進センター及び産学官連携推進センターについて“センター”という名称が紛らわしいので、国際化推進室及び産学官連携推進室としたい旨提案があり、承認された。

III. その他

(1) 仙台フォーラムについて

11月17日に開催した仙台フォーラム2010について、160名を超える参加者があり、盛況裡に終わったことが報告され、開催への協力に対する謝辞があった。

なお、来年度は東京フォーラムを平成23年11月18日に開催予定であるのでご協力願いたい旨依頼があった。

(2) 共同プロジェクト研究発表会2010について

12月1日に開催された共同プロジェクト研究発表会2010について、156名の参加があり無事終了したことが報告され、開催への協力に対する謝辞があった。

なお、今回は他のイベント等と日程が重なりかなりの負担となっていたので、次回以降は様々な意見を参考により良い発表会にしていきたいとの説明があった。

(3) 未来戦略懇談会意見交換会について

議長から、11月26日に開催された未来戦略懇談会意見交換会について、企業からは結構な人数が来ていたが通研からは3名、青葉山からも3名の参加者しかいなかったことが報告され、今後は他のイベント等に重ならないよう日程調整を行うので、積極的に参加して欲しいとの要請があった。

(4) 移転について

議長から、現在のところ移転に関する正式な連絡は特にないと報告があった。

パワープラント（変電設備）の設置が必要であると仙台市が連絡してきており、少なくとも来年度の工事は無い見通しとなった。本部からの正式な説明が何もないので、きちんと話し合いを行いたい旨申し出るとの説明があった。

また、何か情報が入り次第説明するとの発言があった。

(5) スプリングアのLNCSについて

スプリングア（Springer）のLNCSについて、平成18年からアクセスができず平成19年から電

気・情報系と情報科学研究科と分担して購入しており、常々理工系共通図書にして欲しいと要望を出していた。この度理工系共通図書と認められたが年30万円の補助しかなくやはり3部局での負担が必要であり、検討の結果負担していくこととした。

(6) 饋還会忘年会について

本日教授会終了後18:30より饋還会忘年会を開催するので、参加願いたい旨依頼があった。

(7) 次回の開催について

平成23年1月11日(火)14:00から開催することとした。

以上